

2026年1月30日
 フューチャーアーキテクト株式会社

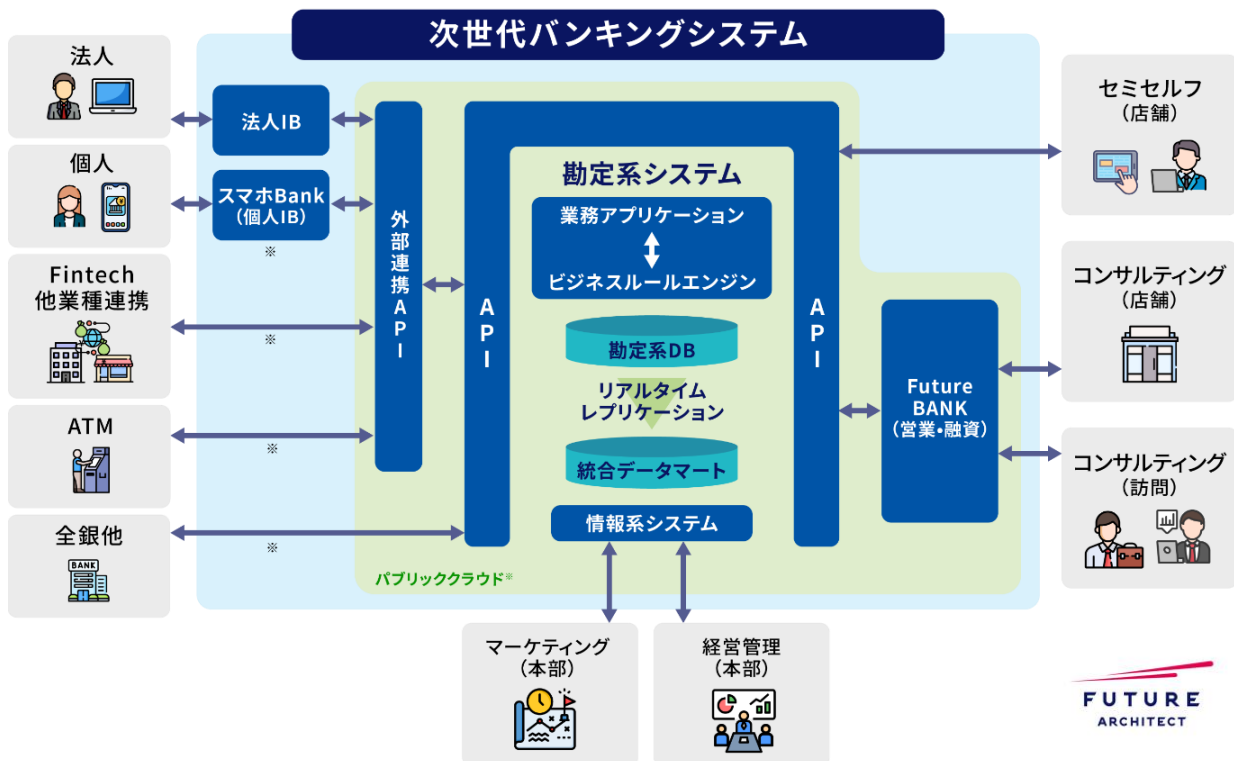
フューチャーアーキテクト、SBI 新生銀行に「次世代バンキングシステム」を導入 フルオープン API を備えた勘定系システムにより地域創生に貢献

フューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト)は、SBIホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長:北尾吉孝)との業務提携に関する基本合意に基づき、SBI地方創生バンキングシステム株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:木村紀義)に提供する「次世代バンキングシステム」を、株式会社SBI新生銀行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:川島克哉、以下「SBI新生銀行」)に導入します。

「次世代バンキングシステム」は、フューチャーアーキテクトが全国 30 行以上の地域金融機関の改革を支援してきた実績をもとに地域金融機関に求められるバンキングサービスを再定義し、ゼロベースで最適を追求したクラウド型基幹系業務システムです。業務プロセスを整理し、最新テクノロジーの活用とともに勘定系機能をシンプルにしたアーキテクチャを採用していることが最大の長です。全てのバンキングサービスを API で提供できるため、制度変更や新しいサービスの拡充に柔軟かつスピーディに対応できるほか、銀行ごとに異なるビジネスルールや商品、サービスをルールエンジン化することで、主要機能プログラムに修正を加えることなく、新たなキャンペーンの展開や既存サービスの改修を短時間かつ低コストで実施できます。さらに、各システムに分散する顧客情報を一元化することで、リアルタイムデータを活用した経営分析や戦略立案が可能になり、店舗業務のデジタル化によって窓口専用端末が不要となるため、コスト削減と業務効率化に大きく寄与します。

SBI新生銀行は、SBIグループが進める「第4のメガバンク構想」における「広域地域プラットフォーマー」の中核銀行として、日本全国の地域金融機関と連携し、各地域のさまざまな課題解決に取り組んでいます。今回のプロジェクトは、「次世代バンキングシステム」の6行目の導入となります。導入にあたっては、これまでのノウハウをベースに構築の効率化を図り、2029年度下期から2030年度上期の稼働を目指します。

フューチャーアーキテクトは、SBI新生銀行のIT戦略パートナーとして「次世代バンキングシステム」をエンジンに地域経済活性化に不可欠な地域金融の強靱化・高度化と地域創生につながる改革に貢献します。



※「スマホ Bank (個人 IB)」「Fintech 連携 API」「ATM」「全銀他」等の対外接続系「SBI 金融クラウド (AWS)」は SBI グループの提供です。

■次世代バンキングシステムの主要システムと特長

「次世代バンキングシステム」は「勘定系システム」に加え「情報系システム」「営業・融資支援システム」「営業店システム」「インターネットバンキングシステム」などを包括し、地域金融機関に求められる業務機能の全域をカバーしています。フューチャーアーキテクトでは、営業支援システム等を含む勘定系の次世代バンキングシステムを「InfiniBANK」（商標登録出願中）と命名し、展開を進めています。

●主要システム

- ・スリムかつコンパクトな「勘定系システム」
- ・リアルタイムデータを提供する統合データマートを活用した「情報系システム」
- ・営業・融資業務の効率化を実現する「FutureBANK」
- ・顧客チャネル拡大に柔軟に対応する「外部 API 基盤」
- ・スマートフォンやタブレットに最適化された先進的 UI を提供する「個人・法人インターネットバンキング」

●特長

1. ビジネスの変化に柔軟かつスピーディに対応

勘定系機能をシンプルかつスリム化し、変化に強い先進的なアーキテクチャを採用。銀行ごとに異なるビジネスルールや商品、サービスをルールエンジン化することで、主要機能プログラムに修正を加えることなく、新しいサービスの拡充や制度変更に柔軟かつスピーディに対応。

2. バンキングサービスのフルオープン API によるデジタルチャネルの拡充

全てのバンキングサービスを API で提供可能。「個人・法人インターネットバンキング」や「外部 API 基盤」を介して、お客様や Fintech 事業者をはじめとする提携事業者に様々な金融サービスを提供し、アクセスチャネルを多様化。

3. 営業・融資業務をワンストップ化し、店舗業務をデジタル化

業務領域ごとに分散していたシステムやツールを統合し、営業店と本部が業務をワンストップで遂行できる環境を整備。窓口専用端末を別途用いることなく、営業店におけるすべての業務を汎用 PC やタブレット端末のみで完結できるため、省スペース化と完全ペーパーレス化を促進。店舗業務改革による、業務効率化を実現。

4. リアルタイムデータを活用したマーケティングや経営戦略策定を支援

スリムかつコンパクトな「勘定系システム」や「FutureBANK」で管理するデータを「統合データマート」にリアルタイムで連携。マーケティングや経営分析レポートなど目的にあわせたデータ利活用を可能とし、業務効率化や機動的な経営戦略の推進をサポート。

フューチャーアーキテクトは、科学的なコンサルティングアプローチと技術力で地域金融機関のビジネス変革や経営戦略の実現を IT と経営の両面から支援し、今後もお客様とともに新たな価値を創造します。

*参考プレスリリース

フューチャーアーキテクト、福島銀行に導入した「次世代バンキングシステム」が稼働開始
クラウド型基幹業務系システムにより地域金融機関の投資を「維持・保守」から「戦略」に(2024年7月16日)
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_FAJisedaiBankingSystem_240716.pdf

フューチャーアーキテクト、島根銀行に導入した「次世代バンキングシステム」が稼働開始
フルオープン API を備えた勘定系システムで地域金融機関のDXを実現(2025年7月22日)
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_JisedaiBankingSystem_250722.pdf

フューチャーアーキテクト、じもとホールディングスに「次世代バンキングシステム」を導入
フルオープン API を備えた勘定系システムで地域金融機関のDXを支援(2025年10月7日)
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_JisedaiBankingSystem_251007.pdf

フューチャーアーキテクト、「次世代バンキングシステム」5行目の導入
フルオープン API を備えた勘定系システムにより東和銀行のDXを支援(2025年10月30日)
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_JisedaiBankingSystem_251030.pdf

フューチャーアーキテクト、営業支援システム等を含む次世代のバンキングシステムを「InfiniBANK」と命名
無限に広がる、永遠に続く、地域に根ざした銀行システムへ(2026年1月19日)
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_InfiniBANK_20260119.pdf

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 小松

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/project_experience_entry.php

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 広報担当：清水、石井 TEL：03-5740-5721

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/press_interview_entry.php